

経営ビジョン

経営理念

【お客様の支持を高めることがわれわれの生きがいであり 唯一の成長の道である】

ヤマナカ創業精神

- | | |
|----------------------------|-----------------------|
| ■ 利は元にある | ■ 自分に厳しく 人にやさしく |
| ■ 薄利多売 | ■ 地域社会から信頼され役に立つ会社になれ |
| ■ 支出を制して益となせ | ■ 会社を大きくすることにより |
| ■ 苦勞と努力を惜しまず、目利き、腕利き、スロになれ | 従業員やお取引先、お客様に恩返しをせよ |

企業行動憲章

私たちは"企業行動憲章"の実践を自らの重要な役割として、周知徹底と定着化に努めます。

1. 企業活動の基本姿勢

当社は、経営理念に基づきお客様に満足いただける品質、価値ある商品、安全かつ安心な商品、サービスなどお客様に喜ばれる販売活動を実施することにより地域社会の発展に寄与する。

2. 法令及び社会規範の遵守

当社は、社会から信頼される企業を目指し、法令、社会通念および社内ルールを遵守し、良識ある企業活動を実践する。また、当社は、社会的秩序や企業の健全な活動に悪影響を与える個人・団体とは、一切係わらないこととする。

3. 情報の開示

当社の定める開示ルールに基づき、必要な企業情報を公正かつ適時に開示する。

4. 地球環境への配慮

当社は、企業方針に基づき地球温暖化防止、資源有効利用などの環境問題に真摯に取り組み、地域社会との調和に努め、環境保全と地域社会発展が両立する継続的な活動をおこなうこととする。

5. 従業員の尊重

当社は、従業員の人格及び個性を尊重するとともに、職場環境の整備に取り組み、従業員がその能力を十分に発揮しうる健全な企業環境を確保する。

編集方針

●編集方針

創業95年目を迎え、地域のお客様から長年ご愛顧賜りました歴史を礎として「お客様支持 No.1店舗」を目標に取り組みしております。本報告書は、地域環境への取り組み、社会貢献活動、お客様満足のため、また従業員にとっての職場環境改善に向けたヤマナカの取り組みや成果などを報告しています。

●報告範囲

- ・対象組織 / 株式会社ヤマナカ 68 店舗および本社
- ・対象期間 / 基本的には2016年度(2016年3月21日から2017年3月20日)の取り組みを報告していますが一部対象期間外の活動なども記載しています。
- ・対象読者 / ヤマナカの各店舗をご利用いただくお客様、株主様、お取引先様、従業員など、当社に係わるすべての皆様を対象としています。

●作成部署

総務部環境推進室 TEL：052-937-9354
担当：総務部、社会・環境報告書作成プロジェクト

●発行月 2017年9月

免責事項

この報告書には、当社の将来についての計画や戦略、業績に関する予想および見通しの記述が含まれています。これらの記述は当社が現時点で把握可能な情報から判断した事項および所信に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。

Topics トピックス

2016年度は、チャレンジハウスだった三郷店、共栄店のヤマナカへの業態変更や小田井店の建て替えを含めて7店舗の改装を実施いたしました。

また、グラッチェカードに電子マネー機能を追加したグラッチェプラスカードの導入を開始しました。

New Open!

小田井店 改装オープン!



<愛知県名古屋市西区上小田井 1-50>

平成28年11月3日「お客様に今日のおかずを提案し、身近で愛されるお店を目指します」を店舗ビジョンとして改装オープンいたしました。300坪スタイルの地域に密着したスーパーマーケットとして、お客様のお役に立てるよう努力してまいります。



INDEX

経営ビジョン / 編集方針	1
トピックス	2
トップメッセージ	3
特集1: グループ会社紹介	
プレミアムサポート株式会社	4
特集2: 地域の皆様に愛される	
「お客様支持 No.1 店舗」を目指して	5
お客様に快適なお買物をさせていただくために	7

社会報告 Society

お客様とともに	10
従業員とともに	11
株主とともに・サプライヤーとともに	13
地域社会とともに	14

環境報告 Environment

環境活動データ	15
省エネルギーの取り組み	16
廃棄物削減・リサイクルの取り組み	18

経営報告 Management

マネジメント	20
会社概要	22

“カスタマー・ファースト”を基本方針に掲げ、 常にお客様視点で物事を考えてまいります

「経営の質を向上させ持続的成長を目指す」ことを2018年3月期までの中期3ヵ年計画のテーマに掲げ、①当社の強みを最大限発揮、②店舗および本部の生産性向上、③働き甲斐のある職場づくりの3つを経営課題の軸として取り組んでまいりました。

商品面においては、当社の強みとする生鮮食品の強化に取り組み、特に農産部門では地場野菜コーナーやカットフルーツコーナーの拡大、デリカ部門では連結子会社のサンデイリー株式会社の米飯工場を活用することで品揃えの強化を図り、米飯類のお客様支持向上に取り組みました。また消費者ニーズに対応して簡便化・健康・おつまみなどをテーマにした品揃えを充実させてまいりました。

販売面では、自社ポイントカード「グラッチェカード」を活用した商圈分析と商圈特性にあわせた品揃えの改善を進めるとともに、お客様の精算時の利便性を高めるため電子マネー機能を備えた「グラッチェプラスカード」に2016年11月より順次切り替えを実施いたしております。また宅配サービスについては同年11月より小田井店(名古屋市西区)

でも開始し、2017年3月20日現在9店舗で展開しております。店舗面では、生産性向上に向けて、基本作業の徹底・教育による作業効率の改善に取り組むとともに、IT化・機械化による発注業務の効率化やセルフレジの導入を進めながら、店内作業の軽減を図ってまいりました。

2016年11月には、小田井店(名古屋市西区)を建て替えによりリニューアルオープンし、300坪スタイルの地域に密着したスーパーマーケットの確立を目指しております。また、同年5月にザ・チャレンジハウス味美(愛知県春日井市)、10月にザ・チャレンジハウス三郷(愛知県尾張旭市)、ザ・チャレンジハウス共栄(愛知県瀬戸市)をエブリデー・ロー・プライス業態から品揃えやサービスを充実させたレギュラー業態へ変更するとともに、既存店活性化策として二川店(愛知県豊橋市)など4店舗について改装を実施いたしました。改装店では、外気の影響を受けにくい前面に扉のついたリーチイン冷凍ショーケースの導入や店舗の冷蔵ケース照明のLED化により、消費電力の削減に取り組んでまいりました。このような環境活動のみならず、地域のお客様と食を通じた食育活動や、パートナー(パートタイマー)を含めた従業員にとって働き甲斐のある職場づくりのため、働き方改革として年間総労働時間の短縮に取り組むとともに、女性や若手社員の人材登用や教育研修制度の充実を進めてまいります。今後も社会貢献活動を積極的に行うとともに、“カスタマー・ファースト”の実現のため取り組んでまいります。ヤマナカの方針と取り組みをご理解いただき、より一層のご支援ご鞭撻を賜りますようお願いいたします。



株式会社ヤマナカ
代表取締役社長

甲野義久





プレミアムサポート株式会社

ヤマナカは、地域のお客様により良い食、そして暮らしの提供をすることを目標としています。
今回は、その目標を共有するグループ会社の一つとして、ビルメンテナンス事業とスポーツ事業を運営している「プレミアムサポート株式会社」のフィットネスクラブをご紹介します！

アスティスポーツクラブ

プレミアムサポート株式会社の前身であるアスティ・スポーツ株式会社は、ヤマナカの総合フィットネスクラブ運営を事業目的として1987年に設立されました。その後、2010年より現在のプレミアムサポート株式会社として、フィットネスクラブを3店舗展開しており、ヤマナカとともにお客様の暮らしをサポートしています。

1. アスティスポーツクラブ One (旧アスティスポーツクラブ香流)

アスティスポーツクラブの一号店であるアスティスポーツクラブ香流は、2017年1月に大規模な改装工事を行い、名称を「アスティスポーツクラブ One」に変え、大きくリニューアルしました。アスティスポーツクラブ Oneのクラブコンセプトは「Quality Fitness Life」。専門性が高く結果が出る提案を続け、お客様の健康をサポートしていきます。



ようこそ、次世代フィットネスクラブへ。

▲アスティスポーツクラブ One (愛知県名古屋市中区千種区京命一丁目1の35)



▲プランニングルーム
目的を達成できるようプランを立てます



▲マシンジムエリア
目的を達成できるようしっかりサポート



▲ファンクショナルゾーン
最新トレーニングプログラムを展開



▲潤艶スタジオ
湿度60%以上、室温30度以上、暖房にコーゲンランプを配備。地域一番のスペースでヨガ・ピラティスを中心に展開



▲TOP RIDE
心肺機能向上を目的としたインドアサイクルプログラム

アスティスポーツクラブ香流は、約40日間かけてリニューアル工事を行い、2017年1月にアスティスポーツクラブ Oneに改名し、“ボディ・スタイル・センスを磨く”フィットネスクラブに生まれ変わりました。新たなスポーツ・メソッドの情報発信拠点として、ハイクオリティな最新プログラムをご提案していきます。



プレミアムサポート株式会社
取締役スポーツ事業部長 大木 基博



2. アスティスポーツクラブ八田
愛知県名古屋市中村区岩塚町西枝 1 番地の 1



3. アスティスポーツクラブ大府
愛知県大府市柘山町一丁目 98 番地



特集2



地域の皆様に愛される 「お客様支持 No.1店舗」 を目指して

愛知、岐阜、三重に展開しているヤマナカでは、各店ごとに地域の皆様に愛される店舗づくりを目指し、様々な特色があります。特集2では、そんなお店、働く人たちを紹介します。



三重

1 ヤマナカ小田井店

建て替えを経ても変わらぬ
ご愛顧をいただいています
チェッカー担当 大西 美千代



建て替えのための閉店時には、多くのお客様に私も含めパートナーの方たちは必ず新店に戻ってきてねと言われました。私たちは今まで以上に、新しいメンバーも小田井店の顔になりつつあります。いつまでもお客様から愛されるお店に育てていきたいと思えます。



2 八事フランテ

お客様にワインを
分かりやすくご紹介したい
リカー担当 郷 政益



ワインの種類は多岐にわたり、複雑です。この地域は知識が豊富な方が多く、お客様に説明するために常に新しい知識を入れたり、研究を重ねたりすることで、スキルアップを行っています。



3 アルテ津新町

笑顔と温かい気持ちで
お客様をおもてなし
GLD担当 伊藤 久子



開店以来ご利用いただいている85歳のお客様がみえますが、元気に1日3~4回来店されます。店員さんとのふれあいが毎日楽しみと、喜んでお買物されています。年配のお客様も多いので、笑顔と温かい気持ちで接していきます。

4 ヤマナカ陽なたの丘店

おいしさ・明るさ・絆が
実感できるお店へ
店長 杉浦 幸久



イートインコーナーを地域のコミュニティスペースとしてお客様へ貸し出し、自治会や子ども会の打ち合せ、お子様のハロウィンパーティーなどに利用いただいています。また、惣菜バイキングの新商品試食会や催事イベントなども実施しています。



5 多治見フランテ

お客様へきめ細かな
対応をしています

チェッカー担当 斎場 千晴



多治見フランテの近隣は山が多く、お買物に苦労されるお客様が多かったため、ご要望もありタクシー会社の直通電話を設置しています。お待ちいただくための椅子も設置し、頻繁にご利用いただいています。



7 汐田フランテ館

還付金詐欺を未然に防ぎ、
豊橋警察署長より表彰

マネジャー 杉浦 生郎(左) チェッカー担当 光嶋 理栄子(右)



お客様のATMのご利用目的に違和感があったため、ATMでの操作を思いとどまるよう説得にあたり、被害に遭うのを未然に防ぐことができました。豊橋で相次いで還付金詐欺が発生している中、従業員の機転で未然防止につながりました。

6 ヤマナカ三郷店

アルバイトの経験を経て
入社へ

デリカ担当 原田 大樹



ヤマナカでアルバイトを3年半していましたが、お客様から「ありがとう」と言っていただけたり声をかけていただいたりすることがとても嬉しく、お客様から愛されている会社だと感じました。



8 ヤマナカ高浜店

「私の気に入ったお店大賞」
を受賞

店長 河井 浩一



2016年に高浜市商工会より、「私の気に入ったお店大賞」の大賞をいただきました。従業員一人一人に、お客様の立場に立って業務にあたってもらえた成果だと思っています。



数あるお店から『ヤマナカ』を選んでいただきましたお客様にご満足いただけるサービス(商品、売場、施設、接客)をお届けすることを第一に、地域のお客様から『ヤマナカがあってよかった』と言われるお店づくりを、従業員一同目指していきます。

店舗運営部長 坪井 哲夫



お客様に快適なお買物をしていただくために



お客様に快適で
便利なお買物をして
いただくために、店舗の各所に
おいて様々な取り組みを実施しています。

① おもいやり駐車スペース

車いすをご利用の方やお体の不自由な方にご利用いただける専用駐車スペースです。



② 補助犬

店頭に「ほじょ犬」ステッカーを掲示し、身障者の方の生活をサポートするパートナーである補助犬の受け入れを示しています。



③ 介添え希望インターホン

介添えご希望のお客様には、出入り口に設置してあるインターホンにて対応させていただきます。



④ 車いす貸し出し

お買物時にご利用いただける車いすを無料で貸し出しています。



⑤ 保冷用水・ドライアイスの設置

お買い上げいただいた商品を品質を保って持ち帰りできるよう、氷・ドライアイスを設置しています。



⑥ 休憩コーナー

店内でお買い上げいただいた商品のご飲食や、休憩にご利用いただけます。



⑦ セルフレジ

お客様の待ち時間を緩和するために、セルフレジを順次導入しています。



⑧ 多目的トイレ

妊娠中の方や、高齢者・お体の不自由な方にも安心してご利用いただけます。



プライベートブランド

ヤマナカでは、おいしさ・機能性にこだわりながら、お求めやすい価格で提供する「うれしいヤマナカ」と、味や産地・製法など付加価値のある品質にこだわった商品をお手ごろな価格で提供する「おいしいヤマナカ」の2ブランドを展開しています。品質の良い、安全安心な商品の開発を目指し、現在では食品から日用雑貨まで約150品目を販売しています。



サンデイリー株式会社

日本のデンマークと呼ばれ、農業が盛んな安城市という恵まれた地で、豆腐、麺、納豆、蒟蒻、米飯類約120品目を製造しています(内ヤマナカPB商品は23品)。原料、素材は地産地消にこだわり「おいしいヤマナカ国産大豆木綿豆腐、絹豆腐」は愛知県産大豆フクユタカを100%使用し、食品の命である水は、碧海大地の深層に眠る良質な地下水を使用しています。また豆腐工場はHACCP認証を取得しています(豆腐工場では愛知県第1号)。2017年3月より工場を新設し、従来の赤飯、ちらし寿司などの米飯のみならず、焼そば、たこ焼などの軽食や弁当、丼まで「おいしさ」にこだわった新商品を製造しています。



地産商品の販売

各店舗において、近隣で収穫された農産物、水揚げされた水産物、さらに愛知県内の生産者に限定して飼育されたヤマナカのプライベートブランド商品「尾張牛プレミアム」「みかわ旨香ポーク」などの地元産の商品を取り扱っています。店舗によっては特設コーナーを設置し、地元産の食材の販売を積極的に行っています。



地元産野菜コーナー



地元の漁港から直送された水産物



愛知県産の尾張牛プレミアム

惣菜の商品開発

お客様にそのまま召し上がっていただける惣菜類は、旬の食材を使ったメニューづくりや季節によって味付けの変更を行うことにより、いつもご利用いただいても飽きないよう努めています。また、一家がそろっての食卓では様々な年代、味の好みを持つ人が集まります。そんな食卓でも皆様においしく召し上がっていただけるよう、バランスのとれた品揃えを心掛けています。商品サイズ、味付けなど、地域のお客様のニーズに合った商品をお届けするため、日々商品開発を重ねています。



便利なサービスの提供

<電子マネー>

今までのグラッチェカードの特典はそのまま、電子マネー機能がついた『グラッチェプラスカード』が新たに誕生しました。ポイントも貯まり、お買物もスムーズ、会員様限定特典も満載のカードです。小銭いらずでスピーディーなお会計、専用のチャージ機で簡単にチャージができます。毎日のお買い物がもっと便利に、楽しく、お得に使えるとっても便利な電子マネーカード『グラッチェプラスカード』をご利用ください。



グラッチェプラスカード

<宅配サービス>

ヤマナカでは、一部店舗にて宅配サービス『喜くばり本舗』を開設しています。「雨が降って買物に行くのが大変」「重いものが持てない」そんなお客様のお悩みを解決します。自宅にいながらお店の商品を電話で注文するだけで、当日または翌日にご自宅へお届けします。一部店舗ではネットスーパーも始めました。

喜くばり本舗実施店舗 (2017年3月時点)

アスティ店、陽なたの丘店、西尾寄住店、西枇フランテ館、松原店、安田店、小田井店、庄内通店、常滑青海店



<クッキングさぼ〜と>

「今日の夕飯は何にしよう。」「このお魚、もっとおいしい食べ方はあるの?」クッキングさぼ〜とでは、そんな主婦のお悩みを解決します!各店舗担当者が、毎日おすすめの日替わりレシピをご提案。また、担当者の想いが込められた手書きレシピもご用意しています。主婦の知恵を存分に活かし、おすすめレシピをご紹介します。



クッキングさぼ〜と実施店舗 (2017年3月時点)

【クッキングさぼ〜と】庄内通店、アスティ店、白土フランテ館、西枇フランテ館、汐田フランテ館、西尾寄住店、アルテ岡崎北、一宮フランテ館、アルテ津新町、四日市富田フランテ館、二川店
【フランテール】八事フランテ、四軒家フランテ、極楽フランテ

<収納代行サービス>

電力・水道・ガスなどの公共料金や通信料金・通信販売などの各種料金のお支払にご利用いただける便利な収納代行サービスを、陽なたの丘店、小田井店の2店舗で実施しています。

※一部取り扱いができない企業や機関があります。



食の安心安全への取り組み

衛生管理

当社ではお客様に安心・安全で高品質な商品を提供するため、様々な衛生管理の取り組みを行っています。自社で定期的に店頭の商品や調理器具などの微生物検査を実施し、適正な衛生状態が保たれているかのチェックを抜き打ちで行っています。また、毎年クリーンキャンペーンを実施し、第三者の目で不具合がないかのチェックをしています。店舗では毎日温度管理や陳列商品のチェックを行い、衛生的な売場環境の維持に努めています。



しおなぎ生鮮センター

鮮魚や精肉を加工するしおなぎ生鮮センターでは開設時から厳しい品質・衛生管理の取り組みを実施し、2012年4月に食品安全・品質管理の国際規格であるSQF認証を取得しました。さらに毎年維持審査を実施し、認証を継続し続けています。また2015年7月には自主的な衛生管理が認められ、名古屋市より食品衛生自主管理認定施設の認定を受けました。いずれの認証につきましても、継続して認証を更新しています。



トレーサビリティシステム

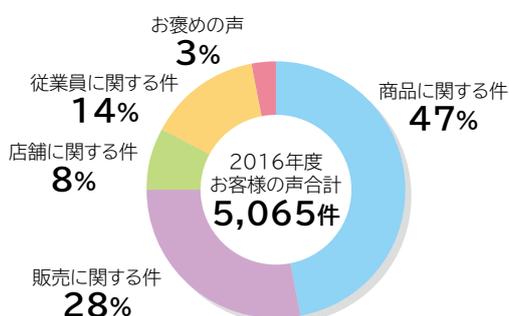
当社では牛肉製品のトレーサビリティシステムの構築によって、お客様に安心して商品をお買い求めいただけるよう取り組んでいます。当社のホームページから、国産牛肉商品のラベルに表示されている14ケタもしくは15ケタの「ロット番号」または10ケタの「個体識別番号」を入力することで、牛が生まれてから店頭まででの生産・流通履歴を調べることができます。



お客様の声を取り入れる取り組み

当社ではお客様からの声を取り入れる取り組みとして、各店舗にご意見箱を設置しています。また、本社にはお客様相談窓口を設け、店舗へ直接お問い合わせいただきにくい内容や、当社全体に対するご意見・ご要望などに対してお電話で対応させていただいています。

お客様からいただいた貴重なご意見やご要望は真摯に受け止め、関係部署へフィードバックし、できる限りお客様のご要望にお応えできるように努めていきます。



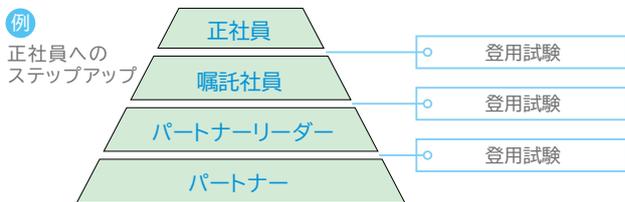
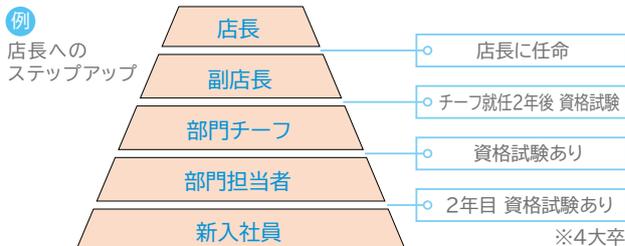
商品に関する件	鮮度、品質、異物混入、量目不足など
販売に関する件	商品表示方法、売価違い、商品取り扱い要望など
店舗に関する件	店内設備、店外設備、清掃状況など
従業員に関する件	レジ操作、対応方法、接客態度など

人材育成

キャリアステップ

当社では、社員やパートナーのキャリアアップを目的に、様々な教育や研修を実施しています。社員は入社後、社内試験で昇格を目指し、ステップ段階に応じた研修や勉強会でさらに能力を高め、将来の店長などを目指します。

パートナーもリーダー登用から、嘱託社員を経て、社員登用の制度もあり、ヤマナカで働くすべての従業員にキャリアアップを目指す体制が整っています。また、社内資格試験において必要要件となる公的資格（日商簿記3級や、第二種衛生管理者、甲種防火管理者など）の取得にかかる費用も、会社負担で行っており、それぞれの担当職務に必要な資格の整備も行っています。



社内研修会

当社が掲げる「中期3カ年計画」のビジョン達成のための経営課題であります「働き甲斐のある職場づくり」推進のため、職場で働く人財育成にむけた様々な研修会・塾を開催しています。

店長、副店長を対象とした「店長塾」では、店長マネジメントのスキルアップ、次期店長の育成を主な目的とした研修を実施、また「チーフ研修」では、マネジメントの基礎能力の修得を目的とした研修を実施しています。その他にも、社外講師を招いて「コーチング研修」なども実施しています。



チーフ研修

自己育成サポート

当社では、オール日本スーパーマーケット協会が行う通信教育の受講費用について補助を実施しています。会社指定の講座を受講終了した場合、受講料の全額支給も行っています。

講座も担当業務に関わらず、自己啓発に向けた講座も多数あり、受講することができます。



小集団活動

小集団活動は、各店舗・部門単位で、地域一番店としてお客様に満足していただけるお店づくりや作業効率のための改善に積極的に取り組んでいる活動です。これらの活動報告は、毎月優秀事例を紹介し、共通認識することで、ヤマナカの活気付けにつながっています。

チェッカーフェスティバル・接客コンテスト

ヤマナカでは、お客様に接客に対する満足度・信頼度を高めていただけるよう、お客様視点に立った『感じの良い』接客を目指し、日頃の業務の質の向上のために、接客技術の共通認識・向上を目的としたチェッカーフェスティバル・接客コンテストを開催しています。もっとも優秀なチェッカーは、オール日本スーパーマーケット協会（AJS）が主催するチェッカーフェスティバルにヤマナカ代表として出場しています。2016年度は、当社の大竹千晴が代表として出場し、優秀賞を受賞しました。



接客コンテスト



チェッカーフェスティバル



AJS主催チェッカーフェスティバル

ワークライフバランス

女性活躍推進法への取り組み

2016年4月1日に女性活躍推進法が施行され、当社も行動計画を作成し、目標を立て、取り組んでいます。当社では女性従業員が多く、女性が活躍することで更なる当社の成長につなげ、また、やりがいと誇りを持つことのできる働き甲斐のある職場を目指しています。

あいち女性輝きカンパニー認証

トップの意思表示や女性の管理職登用、仕事と家庭の両立支援など、女性の活躍推進に向けての取り組みを行っている企業として、愛知県に認証されました。



「女性従業員 座談会」開催

“女性がもっと活躍できる会社になりたい！”という声から、初めて開催しました。働く女性が仕事と暮らしをうまく両立できること、また力が発揮できる環境づくりが企業にとって重要です。女性従業員のみ参加の座談会を実施して、社外の女性社長による講演、仕事上の悩みや質問などの意見交換の場を設けました。社外で活躍する女性の講演を聴いたり、社内での女性従業員同士で意見交換する事によって、女性として働く上での姿勢や自分の立場を見直すきっかけとなりました。



育児・介護休業等に関する制度の一例

育児・介護休業制度

育児	介護
1歳に満たない子と同居し養育する従業員に対する休業制度。1歳6ヵ月まで延長の措置あり	要介護状態の家族を介護する従業員に対する休業制度

育児・介護短時間勤務

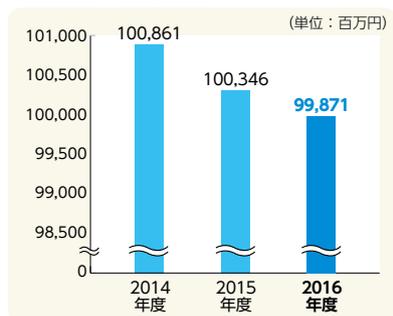
育児	介護
小学校3年生修了時までの子を養育する従業員が希望する場合は、所定労働時間より短時間勤務に変更できる	要介護状態の家族を介護する従業員が希望する場合は、所定労働時間より短時間勤務に変更できる

株主とともに

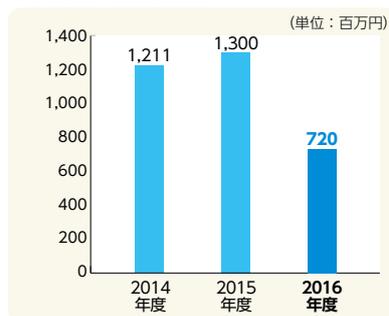
業績

2017年3月期の連結会計年度における経営成績は、売上高に営業収入を加えた営業収益は998億71百万円（前期比0.5%減）、営業利益は6億26百万円（前期比49.5%減）、経常利益は7億20百万円（前期比44.6%減）、親会社株主に帰属する当期純利益は4億81百万円（前期比30.1%減）となりました。

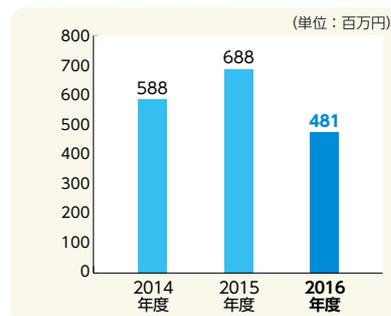
◎営業収益3期比推移



◎経常利益3期比推移



◎当期純利益3期比推移



株主総会

会社の最高意思決定機関である株主総会を、2017年6月16日（金）午前10時より、名古屋市東区葵三丁目16番16号「ホテルメルパルクNAGOYA」にて開催しました。映像機器を用いて事業報告のビジュアル化を実施するとともに、招集通知および決議通知をホームページに掲載しています。

株主優待

毎年3月20日時点において100株以上所有の株主様を対象として、所有株式数に応じて自社取扱商品を毎年5月下旬にお届けしています。

2016年度は100株以上1,000株未満所有の株主様へは自社取扱商品（1,500円相当）、1,000株以上所有の株主様へは自社取扱商品（3,500円相当）をお届けしました。

サプライヤーとともに

ヤマナカ会

ヤマナカでは、お取引先企業様との関係強化を図ることを目的にヤマナカ会を発足し、2017年3月20日現在、284社の企業様にご入会いただいています。今期は、会員企業様へ当社の経営政策などをご報告する「平成29年度ヤマナカ会総会」を2017年5月23日（火）午後2時30分より、名古屋市東区葵三丁目16番16号「ホテルメルパルクNAGOYA」にて約600名の方にご出席いただき開催いたしました。総会の中では、当社の売上に貢献いただいた企業様・個人様への表彰も行い、日頃の感謝をお伝えさせていただきました。今後も、多くのお取引先企業様とより良い関係を築き、ヤマナカをご利用いただく皆様により良い商品を提供できるよう努力していきます。



地域社会とともに



食やスポーツを通してイベント開催

ヤマナカは食の提案だけでなく、マラソンなど、体力向上と健全な精神の育成を目的とするスポーツの大会も毎年開催しています。

2016年度も他社様のご協力のもと、小学生を対象としたマラソン大会を開催しました。

参加者は1,000名ほどとなり、愛知・三重・岐阜にとどまらず、それ以外の県からご参加いただくこともあります。

ヤマナカでは、子どもたちの夢の実現を願い、スポーツを通して未来を担う子どもたちの健やかな育成を応援しています。



募金活動

ヤマナカでは全店に募金箱を設置し、皆様からご協力いただきました募金を全額「(財)東海交通遺児を励ます会」へ寄贈させていただいています。

また、地震や台風など災害に見舞われた方々への募金も募らせていただくこともあります。

2016年度は熊本地震で被害にあわれた方への募金活動を実施し、お預かりした募金は日本赤十字社愛知支部へ寄託しました。皆様の善意に感謝するとともに、ヤマナカは今後も、募金活動を通して助けが必要なたくさんの方々の応援をしていきます。



小中学生の職場体験

ヤマナカでは、地域の子供達に社会勉強の場を提供するために、店舗見学や職場体験の受け入れを行っています(2016年度は全社で179校)。店舗見学ではスーパーマーケットの仕組みや流れを説明し、職場体験では実際にスーパーマーケットの作業を体験してもらっています。今後もこうした活動を通して、地域の子供達達の食育や社会勉強に貢献していきたいと思っております。



地域活動

地元 愛知県のおいしい「お肉」・「野菜」・「お米」などを、ヤマナカを通してお客様にご提案するため、JAあいち経済連様とれんこんの収穫体験を開催しました。今回のイベントには、約60組のご応募をいただき、抽選で20組(1組4名様)をご招待しました。当日はあいにくの雨模様でしたが、れんこん収穫体験時には雨もあがり、盛大に実施することができました。



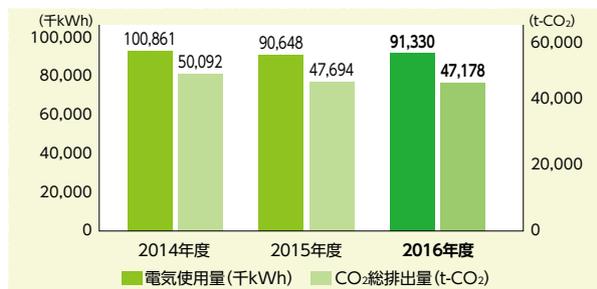
ヤマナカ環境方針

ヤマナカでは、自然環境や貴重な資源を利用して営業活動を行っていることに対して真摯に向き合い、持続可能な環境対策を行うべく、様々な取り組みを行っています。

- 1 社員の職場への貢献意識を高める
- 2 環境に優しい商品を積極的に販売する
- 3 環境に優しい資材・備品を購入する
- 4 家庭ごみの減量に貢献する
- 5 ヤマナカから出るごみの減量に努める
- 6 省エネ設備を導入する

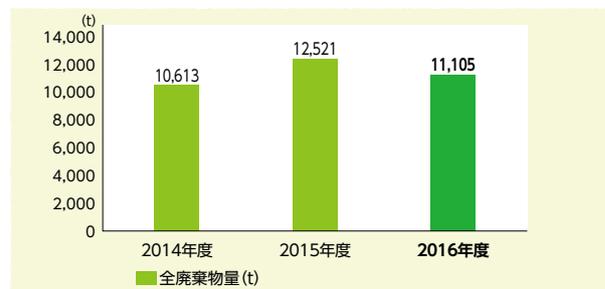
環境データ

◎電気使用量およびCO₂総排出量の推移



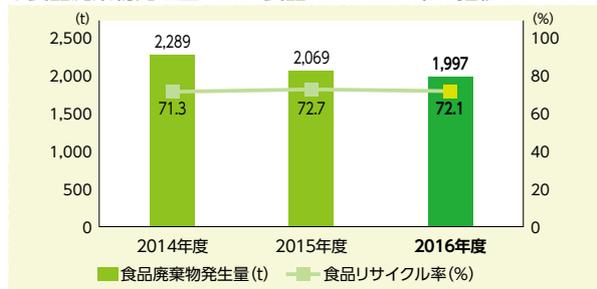
2016年度はエネルギー使用原単位前年度比1.0%削減を目標に掲げて取り組みましたが、前年度から1.4%削減することができました。

◎全廃棄物量の推移



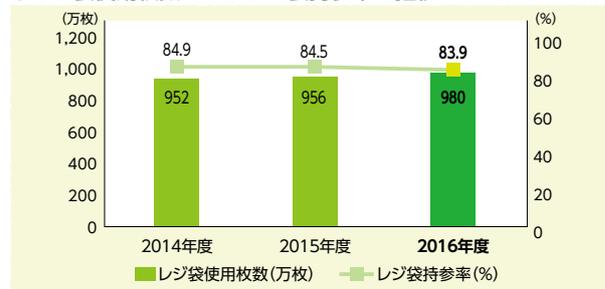
全廃棄物量は前年度比4.3%減を目標に掲げて取り組みましたが、前年度から11.3%削減することができました。

◎食品廃棄物発生量および食品リサイクル率の推移



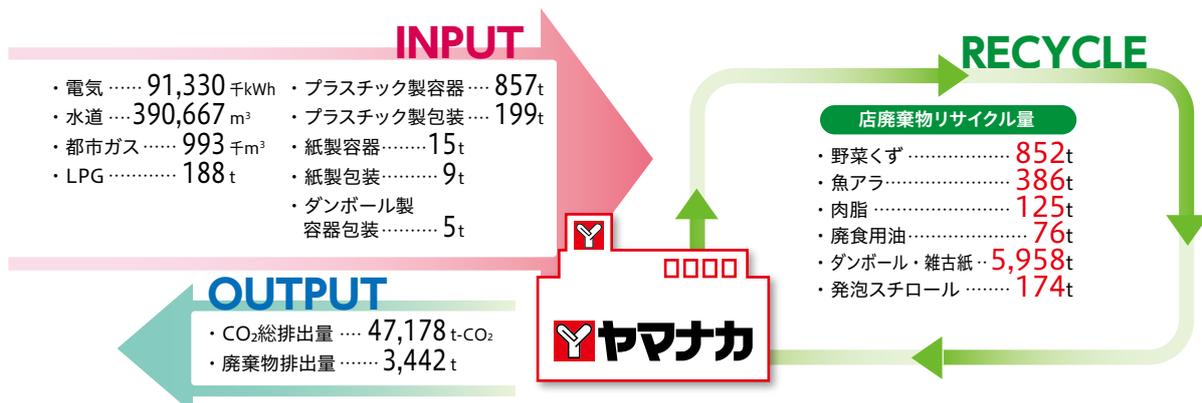
食品リサイクル率は毎年1%以上上昇を目標とし、最終的には80.0%を目指して取り組んでいきます。

◎レジ袋使用枚数およびレジ袋持参率の推移



レジ袋の種類を2種類にしたことで、使用枚数は増加しましたが使用重量は減少しています。レジ袋持参率は80.0%以上を目標としています。

事業活動における環境負荷



省エネルギーの取り組み



限りある資源を有効活用するために、当社では省エネルギー活動に積極的に取り組んできました。

設備面での省エネ

冷蔵・冷凍機器設備の更新

店舗全体の電気使用量の約6割を占める冷蔵・冷凍機設備を、改装店を中心に順次更新し、冷却効率を高めて電気使用量の削減に努めています。更新された設備はコンプレッサのインバーター制御、省エネタイプのファンモーター装備、棚下照明のLED化などにより、従来品と比較して大幅に消費電力を削減することができます。



店舗照明のLED化

店舗天井照明を、従来型の照明機器からより長寿命・高効率なLED照明へと交換しています。また、天井照明だけでなく、冷蔵オープンケースの棚下照明のLED化も同時に進めています。



リーチイン冷凍ショーケースの導入

外気の影響を受けにくい、前面に扉がついているリーチインの冷凍ショーケースを導入することにより、消費電力の軽減を図っています。



社有車をエコカーに

2014年より、業務使用車のエコカーへの変更を順次行っています。2017年3月現在までに、合計56台のエコカーを導入しました。



配送による省エネ

店舗に納品される商品は、まず取引先様から東海市にある物流センターへ集められ、仕分けされた後に各個店ごとに配送されます。商品や作業を1か所に集約することにより、配送効率の向上や運行車両台数の集約、運行距離の短縮に努めています。また、センターからの商品配送の際には繰り返し利用できる専用の通箱を使用し、ダンボール使用量の削減にも取り組んでいます。



行政からの認定

ヤマナカでは、2012年に「あいちCO₂削減マニフェスト2020」に環境保全に対する取り組みを宣言して以降、宣言内容に沿って地道に取り組んできました。2015年度にはその取り組み実績が認められ、トリプルスターに認定されました。トリプルスターは愛知県内でも15社(2017年3月時点)しか認定されていない、あいちCO₂削減マニフェスト2020の最高ランクです。また、ヤマナカの名古屋市内の全店舗は名古屋市より優良エコ事業所の認定を受けています。



従業員による省エネ

デマンドコントロール

店舗での電気使用量はリアルタイムで監視され、使用量が目標上限デマンド値を超える場合には、各従業員があらかじめ決めておいた電気機器や照明の電源を落とすなどの節電対策を実施します。また、日常的に無駄な電気を使わないよう教育を実施しています。



ナイトカバーの使用

閉店後、冷蔵および冷凍のオープンケースにはナイトカバーの使用を徹底しています。冷気が漏れることによる品質の低下や使用電力の増加を防いでいます。



ロードラインの遵守

冷蔵・冷凍ケースに商品を過剰に積むと、冷蔵・冷凍効率が下がり電気の無駄遣いにつながります。適正な陳列量を守ることで、効率的な温度管理を図っています。



ライトダウン、クール・ウォームシェアスポット活動への参加

ヤマナカでは行政の呼びかけで実施されている取り組みに参加し、お客様とともに環境活動を実施しています。

ライトダウンキャンペーンにおきましては、夏至の日と七夕の日に独立広告塔の消灯を行いました。また、豊橋市の一部店舗ではお客様がご家庭でエアコンを使用される代わりに店舗で快適に過ごせるよう、クールシェアスポットおよびウォームシェアスポットの提供を続けています。またヤマナカでは5月1日より10月31日をクールビズ実施期間とし、ノーネクタイで業務を実施しています。



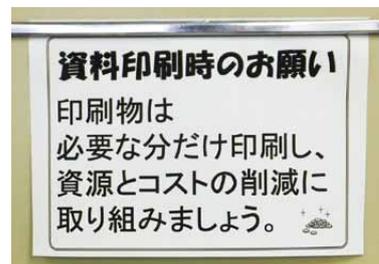
ライトダウンキャンペーン



クールビズポスター

紙使用量の削減

印刷にかかるコストが一目でわかるようポスターを作成し、コピー機の近くに掲示することで、コストに対する意識を向上しています。また、本社においてはコピー用紙の持出し数量を部署ごとに記録し、削減活動をより効果的なものになるよう、努めています。



■ 廃棄物削減・リサイクルの取り組み



当社では3R (Reduce:発生抑制、Reuse:再使用、Recycle:再資源化)に基づき、地球環境保全に取り組んでいます。

ノントレー包装の使用

一部店舗では鶏肉をトレーを使わない袋売り形態で販売しています。包装資材の使用の減少や、お客様が持ち帰る際にかさばらないなどの効果が期待できます。



CO₂の発生を削減するラベルの使用

消費期限が近くなった商品などの値引き販売時に使用のおつとめ品ラベルには、焼却時に発生するCO₂を約20%削減するラベル「エコナノ®ラベル」を導入しています。

※エコナノはサトーホールディングス(株)の登録商標です。



食品リサイクル

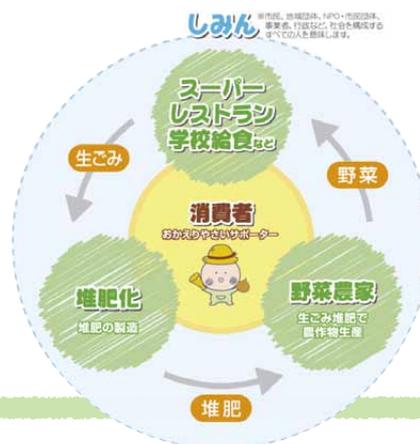
調理の際に発生する野菜くずや魚のアラ、肉脂、廃食用油などは、有用な資源として肥料や飼料、油脂としてリサイクルされています。当社でも食品廃棄物の有効利用に積極的に取り組んでおり、2016年度は食品廃棄物のうち72%をリサイクルしました。当社では「おかえりやさいプロジェクト」の事業者メンバーとして、堆肥の原料となる野菜くずの排出と、その堆肥を使って生産されたブロッコリーの販売を行っています。また、「おかえりやさいプロジェクト」主催のリサイクルループを巡るツアーでは、参加者の方にヤマナカのバックヤードやおかえりやさいの売場を見学いただいています。また「生ごみ出さないプロジェクト」にも参加し、家庭から排出される食品廃棄物を減らすために、販売者としてできることを市民と共に考え、活動しています。



おかえりやさいプロジェクト

「おかえりやさい」は、名古屋市のスーパーマーケットやレストラン、学校給食などから排出される生ごみ(食品循環資源)を堆肥化し、それを使って名古屋市や近郊の農家で作られる野菜です。名古屋市のごみの削減や地産地消によるフードマイレージの低下、生育時の化学肥料や農薬の減少が期待できる農作物でもあります。おかえりやさいプロジェクトは、名古屋市の第4次一般廃棄物処理計画策定の際に、市民提案を行うために集った名古屋市民を母体とし、2008年2月に発足しました。「名古屋市の生ごみをもっと減らそう!」という想いを共有する市民・NPO・事業者らが連携して活動を進めています。

この取り組みは、2014年にグッドライフアワードにおいて環境大臣賞グッドライフ特別賞、2016年には愛知環境賞中日新聞社賞を受賞しています。



レジ袋無料配布中止の取り組み

当社では、2007年に名古屋市モデル事業に参加したのを皮切りに、レジ袋の無料配布中止を進めてきました。2016年度までに66店舗が無料配布を中止し、お客様のご協力のもと、レジ袋持参率は83.9%まで上昇しました。なお、有料レジ袋の販売による収益金は全額地域の自治体などに寄付され、環境活動に活用されています。

2016年度 寄付金額 3,900,981円



園庭の芝生化

資源の店頭回収

当社ではお客様とともに環境活動として、各店舗の店頭においてペットボトル、発泡スチロール製トレー、牛乳紙パック、アルミ缶などの資源回収を行っています。回収したペットボトル、発泡スチロール製トレーなどは繊維やトレーの原料などにリサイクルされています。また、2013年度からは新たに透明トレーの回収も一部店舗で始めました。また、名古屋市内21店舗では、市と協同でお客様からご家庭の廃食用油を回収させていただいています。

ペットボトル	178,015kg	発泡スチロール製トレー	67,801kg
牛乳紙パック	88,876kg	アルミ缶	122,137kg



発泡スチロール製容器のリサイクル

当社では、環境と福祉を両立させた取り組みとして発泡スチロール製容器のリサイクルを行っています。当社から排出される発泡スチロール製容器を知的障がい者福祉施設に有償で回収していただき、破碎・減容してペレット化し、それを食品容器メーカーに販売することによってリサイクルを行う仕組みです。社会福祉法人さつき福祉会と連携し、発泡スチロール製容器の破碎・減容を行うリサイクル施設「エコラ東海」を立ち上げ、取り組みを継続してきました。また、愛知県内の6カ所の福祉施設にも容器の回収・破碎に協力していただき、現在61店舗としおなぎ生鮮センターでこのリサイクルシステムに取り組んでいます。

リサイクルステーション

家庭から出るペットボトル・アルミ缶・新聞紙・衣類などの資源ごみを回収するリサイクルステーションを、一部店舗において設置しています。グラッチェカードのポイントに交換できるエコポイントを導入することで、地域のリサイクル活動と地球環境保全活動を推進します。

リサイクルステーション回収実績

ペットボトル	57,196kg	古紙	622,481kg
アルミ缶	19,821kg	衣類*	57,768kg

※衣類の回収は2017年6月30日で終了

リサイクルステーション設置店舗 (2017年3月時点)

西尾寄住店、知多フランテ館、陽なたの丘店、高横須賀店、二川店、アルテ東海(改装中)

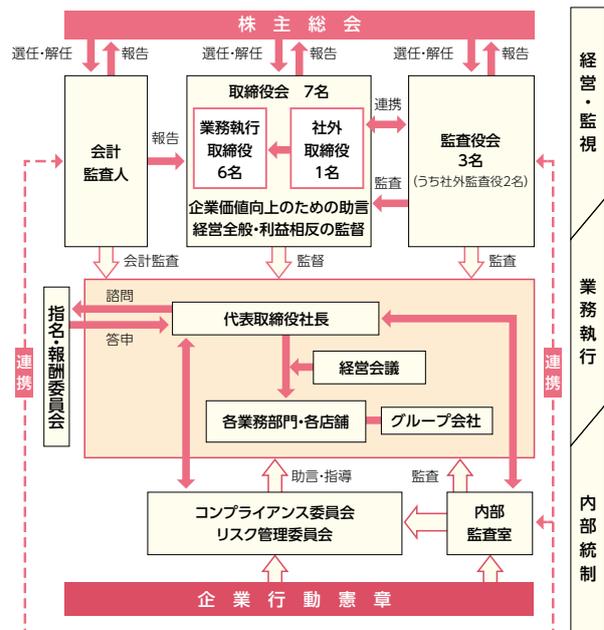




コーポレートガバナンス

コーポレートガバナンス体制

ヤマナカは、監査役会設置会社です。当社は法定の機関として、株主総会、取締役会、監査役会、会計監査人を設置しています。取締役会は社外取締役1名を含む取締役7名で構成し、業務執行につきましては、取締役会が法令および定款に則って重要な業務執行を決定し、取締役会で定められた担当および職務の分担に従い、職務を執行しています。なお、取締役会は取締役会規程に基づき、毎月1回定例的に開催するほか必要に応じて随時開催し、経営に係る重要事項の決定および相互に取締役の職務執行の監督をしています。監査役会は社外監査役2名を含む監査役3名で構成し、監査方針および監査計画に従い取締役会のほか重要な会議に出席するとともに毎月1回監査役会を開催しています。監査役は取締役との面談を行うとともに、社外取締役と相互の意思疎通を図るため定期的に意見交換を実施しています。また、会計監査人および内部監査室とも定期的に意見交換を実施しています。



内部統制

取締役の職務執行が法令および定款に適合することならびに業務の適正を確保することにより、法令・定款・社内規則・モラルに反する不正や事故が発生しないよう、内部統制システムの整備・運用に取り組んでいます。当社は内部統制システムの構築により、企業不祥事を未然防止する体制を整え、健全な企業経営の継続を目指しています。

コンプライアンス

コンプライアンスに関する基本方針

会社法をはじめ、労働関係法令や個人情報保護法といった幅広い法令の理解を促進し、それらに基づいた社内倫理の確立と、企業の社会的責任（CSR）を経営そのものに浸透させるため、コンプライアンスに関する取り組みを進めています。

コンプライアンス教育

毎期初において、年度の「コンプライアンスプログラム」および「リスク管理プログラム」を策定し、それに基づいて役員および全従業員を対象としたコンプライアンス教育を実施しています。2016年度の全社コンプライアンス教育項目は以下の通りです。

第60期上半期
コンプライアンス教育
個人情報の保護

<教育対象者>
管理職
社員
パートナー

第60期上半期
コンプライアンス教育
交通事故の防止

<教育対象者>
管理職
社員
パートナー
アルバイト

第60期下半期
コンプライアンス教育
お互いが働きやすい
職場にするために
パワー・ハラスメント防止～

<教育対象者>
管理職・一般社員
パートナー

第60期下半期
コンプライアンス教育
知って役立つ「労働法」
～働くときに必要な基礎知識～

<教育対象者>
管理職・一般社員
パートナー

上半期 個人情報の保護、交通事故の防止

下半期 パワー・ハラスメント防止、知って役立つ「労働法」



内部通報相談窓口

従業員がその能力を十分に発揮しうる健全な職場環境を確保するために、社内に3カ所、社外に1カ所の内部通報相談窓口を設置しています。通報・相談方法として、電話、電子メール、書面、FAX、面会などさまざまなツールを用意して便宜性を提供するとともに、通報・相談者自身の保護はもとより、その内容や調査で得られた情報などについても保護しています。

リスクマネジメント

当社は、リスク管理基本規程を定め、担当取締役を委員長としたリスク管理委員会を定期開催し、総合的なリスク管理体制と横断的な予防体制の整備を実施しています。

また、事業活動に伴う固有のリスクについては、部署またはグループ企業各社のリスク責任者を中心に評価・対応を行い、グループ全般に係るリスクについてはリスク管理委員会に対応しています。さらに緊急事態に備えて事業継続計画（BCP）を策定し、重要業務の中断による業績・信用低下のリスク軽減を図っています。

個人情報基本方針

当社は、業務において利用するお客様の個人情報について、個人情報保護に関する法令、その他の規範を遵守し、自主的な管理ルールと体制を確立して取り組むことを定めています。

個人情報の取り扱いに関する安全宣言

- ①当社は、個人情報保護に関する法令およびその他規範を遵守いたします。
- ②当社は、個人情報を厳密に管理・運用していくために組織体制を整備し、継続的な教育等の実施により情報管理体制の充実を図ります。
- ③当社は、適切かつ合理的な安全対策を講じ、不正アクセス、漏えい、改ざん、紛失などの未然防止および再発防止を図ります。
- ④当社が個人情報の取り扱いを外部に委託する際は、委託先を厳選し、安全管理ならびに秘密保持を徹底いたします。
- ⑤当社は、お客様からご自身の情報についてお問い合わせを受けた場合は、合理的かつ適切に対応いたします。
- ⑥当社は、上記の各項目について有効かつ適正に運用されるよう適宜見直し、継続的改善を図ります。

防災訓練

当社では、BCPの実効性向上のため、毎年本社・本部において綿密な防災訓練を行っています。

2016年度は2部制で行い、第1部では安全確保、安否報告訓練、一時避難および緊急対策本部設置、店舗の被害状況に応じた対策、支援を検討する訓練を行い、第2部では代表者によるAEDの講習会を実施しました。



会社概要

- 会社名 株式会社ヤマナカ
- 本社所在地 愛知県名古屋市東区葵三丁目15番31号
- 事業内容 スーパーマーケット事業および小売周辺事業
- 創業 1922年(大正11年)2月
- 設立 1957年(昭和32年)7月
- 資本金 42億2,061万円
- 代表者 代表取締役社長 中野義久
- 決算月 毎年3月20日
- 株式 名古屋証券取引所 市場第二部上場
- 営業収益 998億円(2017年3月期連結決算)
- 店舗数 愛知・岐阜・三重県下に68店舗
- 社員数 857名(連結ベース)
- パートタイマー 3,336名(連結ベース、8時間換算勤務)
- URL <http://www.super-yamanaka.co.jp>
- 関連会社 株式会社アイビー(生花販売)
サンデイリー株式会社(日配食品製造)
プレミアムサポート株式会社(店舗設備などの管理メンテナンス、スポーツクラブ運営)
新安城商業開発株式会社(不動産管理)



グループ会社

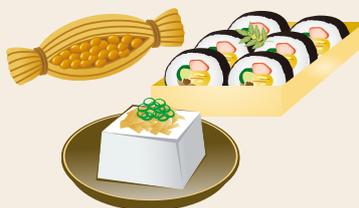
株式会社アイビー

花の加工、流通、フラワーショップを通じて、お客様の手元に元気で素敵な花とグリーンをお届けしています。



サンデイリー株式会社

豆腐・麺・こんにやく・納豆・米飯など安心・安全でおいしい食品をお客様にお届けします。



プレミアムサポート株式会社

ヤマナカ店舗施設の整備、アスティスポーツクラブの展開やハウスクリーンテック(清掃・整備等)を中心に行っています。





株式会社 ヤマナカ

〒461-8608 愛知県名古屋市東区葵三丁目15番31号
<http://www.super-yamanaka.co.jp>

お問合せ先 総務部環境推進室 TEL 052-937-9354

見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。

UD FONT
by MORISAWA